

(鹿児島市)

カクイは、創業142年を迎えました。142年で培ったノウハウを活かし、安心快適な製品を提供しております。

1881年(明治14年)の創業以来「豊かさ快適さの創造」という永遠のテーマのもと綿花に関連したビジネスを連続として続けてまいりました。1898年(明治31年)・島津藩の紡績機を払い下げ日本で初めて洋式機械による製綿を開始、そして戦後最新の製綿機器を一挙に導入し質・量ともに日本一として現在の基盤を固めました。時代の変化を技術・製品開発で対応し連続精練後晒装置の開発や高性能油吸着材「カクイオイルキャッチャー®」の製品化成功など、天然繊維に特化した製品開発を進めています。



代表取締役社長 岩元 正孝

会社概要

2024年1月1日現在

■所在地 〒890-0081
鹿児島県鹿児島市唐湊(とそ)
四丁目16番1号

■代表者 代表取締役 社長
岩元 正孝

■設立 1881年(明治14年)3月

■TEL 099-254-2131

■資本金 1億円

■FAX 099-254-2136

■従業員数 175人

■E-Mail kakui@kakui.co.jp

■事業概要 天然繊維 製造販売

■URL <https://kakui.co.jp/>

■主要製品 コットンパフ、衛生材料、油吸着材

コットンパフ

カクイのコットンパフが選ばれている一番の理由が「やわらかさ」です。カクイ独自の製造方法の連続精練後晒法は綿に含まれている油分を他の製法よりもわずかながら多く残します。この絶妙なさじ加減が他が真似できないやわらかさを実現しています。「3層構造」中心はバージンの原綿を贅沢に使うことによりクッション性を出し、表裏面は起毛しにくい綿を使うことにより毛羽立ちを抑えています。多くのアイテムでエコテックス®スタンダード100を取得しております。これは繊維製品に有害化学物質が含まれていないことを証明する世界共通の「安全・安心の証」です。



コットンパフ

油吸着材 カクイオイルキャッチャー

カクイオイルキャッチャーは「圧倒的な吸着量」と「油保持力」を持つ天然繊維高性能油吸着材です。水をはじいて油だけを吸います。海上、港湾、河川、工場、レストランなどから流出する油を吸収し水をクリーンにします。地球温暖化の原因となるCO2の発生は、植物系素材なので合繊系に比べ数分の1と地球にも優しく、1g当たりの油吸着量は30gとなり、合繊系の3倍。また吸着した油は天然繊維の中空部分に保持され移動時の滴り落ちを起こしません。また、吸着スピードが速く、軽くてハンドリング性や作業効率に優れることから油流出事故時に多く使われております。



オイルキャッチャー

セロビオース

カクイはコットン繊維から二糖であるセロビオースの開発に成功しました。セロビオースとはグルコース(ブドウ糖)2分子が β -1, 4結合でつながった二糖です。水溶性でやや甘く、自然界には極微量(トウモロコシや松葉)存在します。ヒトの体内では消化吸収されません。ヒトが摂取すると消化されずに大腸に到達し、セロビオースを餌とするビフィズス菌等の善玉菌が増殖します。それらの菌が短鎖脂肪酸を産生します。短鎖脂肪酸のメリットは数多く、その一つとしてIgA産生を増強し免疫力を高めることが知られております。



セロビオース